

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援施設 edu careつながり		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	インテーク時のアセスメントにて、専門性を活かしたアセスメントを実施。 <アセスメントツール> ・KIDS ・ECBI ・SP (感覚プロファイル短縮版)	事業所独自のアセスメントや様々なツールを活用したアセスメントを実施。	OTだけに限らず、保育士や心理士なども検査が取れるよう研修を実施していく。
2	多職種連携した療育の提供	内部研修・外部研修を定期的に行い、子どもの情報を共有し、個々に合わせた支援プログラムの実現。	毎月、アドバイザーによるSVを実施。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベントや保護の交流の場が設けられていないことで、保護者間での不安や悩みを相談する場がない。	サービス提供の関係上、現時点では時間の確保が難しい。	イベントや保護者交流会の場を設けていく。
2	発語がうまくできないお子さんに対して、専門性(質)の高い療育の提供が十分でない。	発語に関する専門的知識を有した職員が在籍していない。	継続して募集していく。 現在いる職員で、内部・外部研修に参加し質の向上を目指していく。
3			